

(様式3)

自己評価結果票 アミーユ宝塚山本 評価日4/18

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>社内独自の理念があり、各ユニット目が届く所に掲示しています。</p> <p>事業所特有の理念としては「接遇」を重んじ各職員に周知させています。</p>	<p>社内独自の理念があり、各ユニット目が届く所に掲示しています。</p> <p>事業所特有の理念としては「接遇」を重んじ各職員に周知させています。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>ミーティング、研修などの場で接遇の大切さ、入居者様の価値向上につながるという話を続け浸透するように取り組んでいます。</p> <p>新職員には入社の際、接遇の重要性を伝えていきます。</p>	<p>ミーティング、研修などの場で接遇の大切さ、入居者様の価値向上につながるという話を続け浸透するように取り組んでいます。</p> <p>新職員には入社の際、接遇の重要性を伝えていきます。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>地域社会の中においても、常に職員の接遇の良さは入居者様の価値向上につながると認識し日々活動しています。</p>	<p>地域社会の中においても、常に職員の接遇の良さは入居者様の価値向上につながると認識し日々活動しています。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>隣の畑の人に挨拶をしたりしています。</p> <p>野菜を頂いたこともありました。</p> <p>年に1度、夏祭りには近隣の住人をご招待しています。</p>	<p>隣の畑の人に挨拶をしたりしています。</p> <p>野菜を頂いたこともありました。</p> <p>年に1度、夏祭りには近隣の住人をご招待しています。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>地域の行事（近隣学校の祭り等）に利用者と共に参加しています。</p> <p>毎月、子ども会の廃品回収に協力しています。</p>	<p>地域の行事（近隣学校の祭り等）に利用者と共に参加しています。</p> <p>毎月、子ども会の廃品回収に協力しています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の高齢者ボランティアの導入を計画したことはありますが、まだ導入はできていません。		地域ボランティアを通じ、地域の高齢者のお役に立てるように取り組んでいきたいです。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員は施設という空間の中で働いている以上、外部からの客観的な視点がわかりにくいと考え、普段からお客様に見られているという意識を持つようにしています。		職員は施設という空間の中で働いている以上、外部からの客観的な視点がわかりにくいと考え、普段からお客様に見られているという意識を持つようにしています。
8 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	おおむね2ヶ月に1度行われる運営推進会議で利用者に意見をいただきサービス改善に努めています。		おおむね2ヶ月に1度行われる運営推進会議で利用者に意見をいただきサービス改善に努めています。
9 市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	宝塚市介護保険課の集団指導に参加し、サービスの質の向上に取り組んでいます。		より多くの交流の機会を作りたいと考えています。
10 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	相談を受けたときに、必要性のお話しは、学ぶ機会は作りましたが勉強会等に参加したことは無く、知識はまだ不十分です。		今後より多くの知識を身につけていきたいと考え、積極的に勉強会などに参加したいです。
11 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止に関する研修を行い、どのような事柄が虐待になるのかの知識の共有をしています。		高齢者虐待防止に関する研修を行い、どのような事柄が虐待になるのかの知識の共有をしています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には十分に納得していただけるように説明を行っています。		契約の際には十分に納得していただけるように説明を行っています。
13 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書に苦情処理窓口として管理者氏名を明記している。職員が直接入居者から苦情を聞き取った場合は、速やかに報告をうけ、状況の確認や聞き取りを行っている。聴衆した意見や要望については、些細な事でもご意見ご要望カードに記入し提出を行っている。		重要事項説明書に苦情処理窓口として管理者氏名を明記している。職員が直接入居者から苦情を聞き取った場合は、速やかに報告をうけ、状況の確認や聞き取りを行っている。聴衆した意見や要望については、些細な事でもご意見ご要望カードに記入し提出を行っている。
14 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、すべての利用者ご家族に手紙を送り近況報告を行っています。必要なことは随時電話にて報告しています。		毎月、すべての利用者ご家族に手紙を送り近況報告を行っています。必要なことは随時電話にて報告しています。
15 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書に苦情処理窓口として管理者氏名を明記している。職員が直接入居者から苦情を聞き取った場合は、速やかに報告をうけ、状況の確認や聞き取りを行っている。聴衆した意見や要望については、些細な事でもご意見ご要望カードに記入し提出を行っている。		重要事項説明書に苦情処理窓口として管理者氏名を明記している。職員が直接入居者から苦情を聞き取った場合は、速やかに報告をうけ、状況の確認や聞き取りを行っている。聴衆した意見や要望については、些細な事でもご意見ご要望カードに記入し提出を行っている。
16 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	おおむね半年に1度の面談で、会社に対する意見を聞いています。		徴収した意見をさらに反映していきたいと思えます。
17 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	人員配置的には、より増やして欲しいという意見も多く、柔軟な対応ができているとはいえません。		可能な限り、勤務調整の上で柔軟な対応をしていきたいと思えます。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の交代は、利用者に不安を与えることを理解し、最小限にできるよう、普通の職員に対するストレスの軽減に努めています。		職員の交代は、利用者に不安を与えることを理解し、最小限にできるよう、普通の職員に対するストレスの軽減に努めています。
5. 人材の育成と支援			
19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	入社後3ヶ月はトレーニング期間としてトレーニングノートの提出を求め、意見交換をしています。また、職員には月に1度研修に参加して知識の向上に努めています。		今後、外部の研修にも積極的に参加していただけるようにしていきたいと思っています。
20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	宝塚市の施設管理者の会議に定期的に参加し交流を行っています。		宝塚市の施設管理者の会議に定期的に参加し交流を行っています。
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員のストレス軽減の為、ボーリングやソフトボール、バスケットボールなどの交流の機会を作っています。		職員のストレス軽減の為、ボーリングやソフトボール、バスケットボールなどの交流の機会を作っています。
22 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の面談時に今後の目標を聞き取り、その目標に向け仕事ができるように支援しています。		職員の面談時に今後の目標を聞き取り、その目標に向け仕事ができるように支援しています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居前に本人にお話を聞くことはもちろん、入居後もできるだけ毎日、利用者と顔を合わせる機会を作っています。</p>	<p>入居前に本人にお話を聞くことはもちろん、入居後もできるだけ毎日、利用者と顔を合わせる機会を作っています。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>来訪時には出きるだけご挨拶に伺いますが、利用者もいるためなかなか意見を聞き取ることはできませんが、信頼していただけるように努めています。</p>	<p>相談、悩みなどを聞き取り信頼関係が構築できるように努めていきたいです。</p>
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談を受けたときは、まずどのような支援ができるかをお伝えしています。またその時対応できないことに関しては後日対応しています。</p>	<p>相談を受けたときは、まずどのような支援ができるかをお伝えしています。またその時対応できないことに関しては後日対応しています。</p>
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>サービス開始時には、可能であればご本人に見学に来ていただいたり、こちらから説明をさせていただいています。また、家族にできるだけ面会に来ていただけるように進めています。</p>	<p>サービス開始時には、可能であればご本人に見学に来ていただいたり、こちらから説明をさせていただいています。また、家族にできるだけ面会に来ていただけるように進めています。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>普段、ゆっくり話し合える時間を優先し、一緒に笑える時間を大切にしています。</p>	<p>普段、ゆっくり話し合える時間を優先し、一緒に笑える時間を大切にしています。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 利用者を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている	家族の協力を要請し、家族に協力していただけることはしていただいています。		家族の協力を要請し、家族に協力していただけることはしていただいています。
29 利用者との家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの利用者との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	普段からコミュニケーションを大切にし、利用者、家族と信頼できる関係を築けるように努めています。		普段からコミュニケーションを大切にし、利用者、家族と信頼できる関係を築けるように努めています。
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前に付き合いのあった方たちの聞き取りを行い、自宅からはなれ入居された利用者に会いに来ていただいています。		入居前に付き合いのあった方たちの聞き取りを行い、自宅からはなれ入居された利用者に会いに来ていただいています。
31 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士が関わりを持てるように、様々な場を通し職員が間に入って支えられるように努めています。		利用者同士が関わりを持てるように、様々な場を通し職員が間に入って支えられるように努めています。
32 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービスが終了したご家族が、お花を持ってきてくれたりしますが、継続的なお付き合いができていないわけではありません。		サービスが終了したご家族が、お花を持ってきてくれたりしますが、継続的なお付き合いができていないわけではありません。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>まずは本人への聞き取り、そして困難な場合は、相手の気持ちに立って考えると言うことを職員に周知させています。</p>	<p>まずは本人への聞き取り、そして困難な場合は、相手の気持ちに立って考えると言うことを職員に周知させています。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>生活歴の聞き取りがケアに反映されると考え、入居時はもちろん、普段から利用者に話していただけるように接しています。</p>	<p>まだまだ聞き取りが不十分なことがありますので、今後力を入れていきたいと思っています。</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>利用者の能力を適切に見極めることが自立支援につながるとし、1日どのように過ごしているかを通し、現状把握に努めています。</p>	<p>利用者の能力を適切に見極めることが自立支援につながるとし、1日どのように過ごしているかを通し、現状把握に努めています。</p>
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>毎週のカンファレンスでケアについて話し合い、ケアに関しては毎月、利用者、家族のサインをいただいてから新しいケアを始めています。</p>	<p>毎週のカンファレンスでケアについて話し合い、ケアに関しては毎月、利用者、家族のサインをいただいてから新しいケアを始めています。</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>毎月、介護計画は見直していますが、なかなか細かい所までの見直しへできていませんが、できるかぎり現状に即した計画を立てています。</p>	<p>より決め細やかな介護計画が立てられるように、見直し、作成をしていきたいと考えています。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>申し送りや記録に日々の変化を記載し、各職員が情報を共有できるように勤めています。</p>		<p>申し送りや記録に日々の変化を記載し、各職員が情報を共有できるように勤めています。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>過去に事業所が使用してきたサービス、その内容などをお知らせし、事業所ならではのネットワークで柔軟な支援をしています。</p>		<p>過去に事業所が使用してきたサービス、その内容などをお知らせし、事業所ならではのネットワークで柔軟な支援をしています。</p>
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	<p>地域資源との協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>19年に1回民生委員の方に見学に来ていただいています。地域警察にも連携を取り何かあればすぐに連絡をとって来ていただけるようにしています。また地域音楽教室の子ども達と年2回の交流を持っています。</p>		<p>その他地域との交流を広げていくことを目標としています。</p>
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>ケアマネジャーとの連携により現在利用者が他のサービスを利用することはありませんが、入所に地域ケアマネジャーとの連携がありアミーユに来られることはあります。</p>		<p>ケアマネジャーとの連携により現在利用者が他のサービスを利用することはありませんが、入所に地域ケアマネジャーとの連携がありアミーユに来られることはあります。</p>
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>本人の必要性に応じて、権利擁護や総合的な相談にはのっているが、地域包括支援センターと協議は行っていません。</p>		<p>今後、必要に応じ地域包括支援センターとの連携をとっていきたいと思っています。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医との連携を大切にし、利用者のご要望を聞きかかりつけ医に相談しています。		かかりつけ医との連携を大切にし、利用者のご要望を聞きかかりつけ医に相談しています。
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	必要な利用者には認知症専門外来での診療をしていただいています。		必要な利用者には認知症専門外来での診療をしていただいています。
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	かかりつけ医院の看護師に月2回の往診時に来ていただいています。		かかりつけ医院の看護師に月2回の往診時に来ていただいています。
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	定期的にお見舞いに伺い、その都度経過や状態についての情報を収集し早期退院についての話し合いを随時行っている		定期的にお見舞いに伺い、その都度経過や状態についての情報を収集し早期退院についての話し合いを随時行っている
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	早い段階で終末期に対するご要望を聞き、利用者の意見を尊重しています。		すべての利用者にご要望が聞き取れているわけではないので、今後の課題となります。
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	「できること・できないこと」は常に明確にしそのことを伝えたくて話し合いの場を持っています。		「できること・できないこと」は常に明確にしそのことを伝えたくて話し合いの場を持っています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>環境の変化の重要性を理解しできるだけ本人に寄り添い、現在の環境をそのまま再現していただけるように努めています。</p>		<p>環境の変化の重要性を理解しできるだけ本人に寄り添い、現在の環境をそのまま再現していただけるように努めています。</p>
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>				
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員の守るべき行動規範にも秘密保持の項目を入れ、特に重要視すべき事柄として職員に周知徹底させている。また個人情報の取り扱いについてのマニュアルがあり、また研修やミーティングで人権やプライバシーの保護についても指導を行っている。</p>		<p>職員の守るべき行動規範にも秘密保持の項目を入れ、特に重要視すべき事柄として職員に周知徹底させている。また個人情報の取り扱いについてのマニュアルがあり、また研修やミーティングで人権やプライバシーの保護についても指導を行っている。</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>常に利用者の自己決定を尊重することと、常に要望を聞き取る体制を職員に徹底させています。</p>		<p>常に利用者の自己決定を尊重することと、常に要望を聞き取る体制を職員に徹底させています。</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者の普通の生活を元に1日のスケジュールを決定しています。</p>		<p>利用者の普通の生活を元に1日のスケジュールを決定しています。</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>基本的に理容は馴染みの店に行っていたかのように支援しています。入居時にもそのようにお伝えしています。</p>		<p>基本的に理容は馴染みの店に行っていたかのように支援しています。入居時にもそのようにお伝えしています。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の能力を見極め一緒に準備をしていただいています。食事を作ることができなくても、見学をしたり味見をしたりしていただいています。		利用者の能力を見極め一緒に準備をしていただいています。食事を作ることができなくても、見学をしたり味見をしたりしていただいています。
55 利用者の嗜好の支援 利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	現在、毎日お酒を飲まれる方はいませんが、特に制限は無く、何かイベントの際には飲まれる方もいます。毎日のお茶の時間は各利用者の飲みたいものを伺い提供しています。		現在、毎日お酒を飲まれる方はいませんが、特に制限は無く、何かイベントの際には飲まれる方もいます。毎日のお茶の時間は各利用者の飲みたいものを伺い提供しています。
56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄のパターンを把握し、適切かつ気持ちの良い排泄ができるように支援しています。		排泄のパターンを把握し、適切かつ気持ちの良い排泄ができるように支援しています。
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の普通の生活、入浴の要望に応じ支援しています。また、入浴剤を利用し入浴を楽しんでいただけるようにしています。		利用者の普通の生活、入浴の要望に応じ支援しています。また、入浴剤を利用し入浴を楽しんでいただけるようにしています。
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	利用者の普通の生活を元に常に起きていることを押し付けるのではなく、ソファやベッドで休んでいただけるよう支援をしていただいています。		利用者の普通の生活を元に常に起きていることを押し付けるのではなく、ソファやベッドで休んでいただけるよう支援をしていただいています。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者に役割を持っていただけるよう、お花を生けたり、新聞を配達したり、能力に応じた支援を行っています。		利用者に役割を持っていただけるよう、お花を生けたり、新聞を配達したり、能力に応じた支援を行っています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	普通の生活の回復を目指すこと理念に基づき、できるだけ自分で管理していただいています。紛失の可能性のある利用者には居室に金庫を置いていただいています。		すべての利用者にお金の所持をしていただけることを目標にしています。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の要望に基づき、外出援助を行っています。より多くの外出を希望される利用者には、ご家族やボランティアの協力を得て外出していただいています。		利用者の要望に基づき、外出援助を行っています。より多くの外出を希望される利用者には、ご家族やボランティアの協力を得て外出していただいています。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	普段より外出の要望を聞き取り、特に季節の行事、花見、紅葉狩り、ルミナリエなどの外出機会を作っています。		普段より外出の要望を聞き取り、特に季節の行事、花見、紅葉狩り、ルミナリエなどの外出機会を作っています。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	居室に電話を引き自由に電話をかけられる利用者もおられますし、要望があれば共用電話で取り次ぎもしています。また、暑中見舞い、年賀状等を出していただけるよう支援しています。		居室に電話を引き自由に電話をかけられる利用者もおられますし、要望があれば共用電話で取り次ぎもしています。また、暑中見舞い、年賀状等を出していただけるよう支援しています。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	気軽に訪問していただけるように、普段からのコミュニケーションを重視しています。		気軽に訪問していただけるように、普段からのコミュニケーションを重視しています。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束とはどのような行かを熟知しており、そのような行為を行っておりません。万が一、感染症などで隔離が必要で本人に説明が困難な場合はご家族に了解をいただき期間を設けています。		身体拘束とはどのような行かを熟知しており、そのような行為を行っておりません。万が一、感染症などで隔離が必要で本人に説明が困難な場合はご家族に了解をいただき期間を設けています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室に鍵を掛けることは利用者に一任していません。 玄関の鍵は、お一人で外出されるリスクを最優先し中からは自動で開かないようになっています。		玄関の鍵をかけるのが当たり前では
67 利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	必要な利用者には提示の安全確認を実施しています。 また普段の生活の中で、常に利用者の様子、安全を意識しています。		必要な利用者には提示の安全確認を実施しています。 また普段の生活の中で、常に利用者の様子、安全を意識しています。
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意が必要な物品はまず代用品を考え、利用者が快適に生活できるように取り組んでいます。		注意が必要な物品はまず代用品を考え、利用者が快適に生活できるように取り組んでいます。
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故が起きた際には、事故報告書を作成し、カンファレンスで話し合い事故防止に取り組んでいます。		ヒヤリ・ハットに関しても報告書を作成し事故防止に取り組んでいきたいです。
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急対応マニュアルに基づき、緊急対応を各職員に周知させています。		緊急時の応急処置に関してはまだすべての職員が熟知しているわけではないので、今後、研修等での指導が課題となります。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回の避難訓練を実施。 利用者、職員で避難方法を学んでいます。		地域の協力に関しては確立がされていないので、今後の課題となります。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	リスクは起こりえるものという事はご家族に説明しています。職員に関しても同様に常にリスクを考えつつ、それだけにとらわれない自立支援の取り組みをしています。		リスクは起こりえるものという事はご家族に説明しています。職員に関しても同様に常にリスクを考えつつ、それだけにとらわれない自立支援の取り組みをしています。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	現象看護を重視し、体調の変化には敏感に反応しDrへの速やかな連絡、相談を実行しています。		現象看護を重視し、体調の変化には敏感に反応しDrへの速やかな連絡、相談を実行しています。
74	服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	社内のマニュアルでも薬の重要性は高く、薬による体調変化などは見逃さないようにしています。ただし、すべての職員が薬の目的や副作用、用法や用量について理解しているわけではありません。		提携薬局との連携により、利用者への薬についての情報提供、職員への指導も含め、薬の知識を高めていきたいです。
75	便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かさず働きかけ等に取り組んでいる	食事、水分量、適度な運動を心がけています。特に便秘症の利用者には、すぐに薬に頼るのではなく乳製品などで予防できるように取り組んでいます。		食事、水分量、適度な運動を心がけています。特に便秘症の利用者には、すぐに薬に頼るのではなく乳製品などで予防できるように取り組んでいます。
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	出来る限り、自立を促し、食後の口腔内の清潔保持に努めています。		出来る限り、自立を促し、食後の口腔内の清潔保持に努めています。
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べる量は、毎食、すべての利用者について記録を行っています。水分量はすべての利用者ではなく、特に水分量の管理を必要とする方に対し記録を行っています。		食べる量は、毎食、すべての利用者について記録を行っています。水分量はすべての利用者ではなく、特に水分量の管理を必要とする方に対し記録を行っています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症予防について入社時や施設研修にて指導を行い、マニュアルを掲示し周知徹底させている。報告が義務付けられている感染症については、管理者から速やかに保健所や当該市への報告をする体制をとっている。		感染症予防について入社時や施設研修にて指導を行い、マニュアルを掲示し周知徹底させている。報告が義務付けられている感染症については、管理者から速やかに保健所や当該市への報告をする体制をとっている。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	衛生マニュアルを作成・掲示し職員に周知徹底している。年に1回サニタリーチェック、年に2回の検便の実施に加え、給食会社から定期的に衛生チェックをうけており衛生管理に対する職員の意識の向上に努めている。		衛生マニュアルを作成・掲示し職員に周知徹底している。年に1回サニタリーチェック、年に2回の検便の実施に加え、給食会社から定期的に衛生チェックをうけており衛生管理に対する職員の意識の向上に努めている。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	最近取り組んだ内容として、玄関の花壇の整備をいたしました。地主様了承のもとで利用者の方たちと花壇を整備、花を植えてより建物周囲に親しみがわくようにいたしました。		最近取り組んだ内容として、玄関の花壇の整備をいたしました。地主様了承のもとで利用者の方たちと花壇を整備、花を植えてより建物周囲に親しみがわくようにいたしました。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の空間は居心地よく過ごしていただけるように、季節感を出すよう、お花や飾りを、利用者の方たちと飾っています。		共有の空間は居心地よく過ごしていただけるように、季節感を出すよう、お花や飾りを、利用者の方たちと飾っています。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間の机はひとかたまりにすることなく、数箇所に分け、仲の良い利用者同士で過ごせるようにしています。		共有空間の机はひとかたまりにすることなく、数箇所に分け、仲の良い利用者同士で過ごせるようにしています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時には、必ず、今まで使っておられた使い慣れた物を持ってきていただけるようアプローチをしています。また、入居後にも、今まで使っておられた物を使用することの重要性を相談しています。		まだ、使い慣れたものが居室に少ない利用者があるので、他にも持ってきていただけるよう取り組んでいきます。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	1日3回(1回5分以上)の換気を行っている。また、床上40cm・150cmの2箇所に温度計を設置し温度差を確認し、室温管理を行なっている。介護日誌に記入を行っています。		1日3回(1回5分以上)の換気を行っている。また、床上40cm・150cmの2箇所に温度計を設置し温度差を確認し、室温管理を行なっている。介護日誌に記入を行っています。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	フロアーには段差は無く、車椅子の方でも自由に移動していただける作りになっています。廊下には手すりもついており、伝い歩きもできる作りになっています。		フロアーには段差は無く、車椅子の方でも自由に移動していただける作りになっています。廊下には手すりもついており、伝い歩きもできる作りになっています。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	利用者が居室やトイレの場所を把握できるように、入り口に張り紙をしています。また、洗剤等でもわかりやすいようにラベルを貼ったりしています。		利用者が居室やトイレの場所を把握できるように、入り口に張り紙をしています。また、洗剤等でもわかりやすいようにラベルを貼ったりしています。
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	1Fの庭では利用者と家庭菜園をしたり、お花を植えたりしていましたが現在は使用していません。現在は、定期的に利用者と草むしりを行っています。		1Fの庭の改修計画が以前よりあり、車椅子の方たちが日向ぼっこや園芸を楽しめるように、花壇を作る案を今後は現実にしていこうと思っています。

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

アミーユ宝塚山本では、利用者の価値向上の為、接遇に力を入れています。
人の価値は他人が決定します。職員が利用者に丁寧な対応をすることで利用者の価値は格段にひきあがると考えています。
また、利用者の能力向上に努め、できることは自分でしていただけるように過剰な援助はしないようにしています。
そのために、的確に能力を見極めるように努めています。
利用者が毎日楽しく笑って生活がしていただける、そんな環境づくりに取り組んでいます。